

商品・工法名称

岡山県内における土砂災害警戒区域で、砂防堰堤ウォール工法（ダムウォール）による砂防堰堤工事が施工されました。

■ 工事概要

近年増加傾向にある集中豪雨や台風などによる土砂災害リスクの増大から、国民の生命を守る対策の一つとして砂防堰堤が多く計画されています。  
 岡山県の久米南町にある当地域は、土石流による土砂災害警戒区域等の指定を受けています。堰堤軸からの距離も管理しやすく、確実に工期短縮が図れる砂防堰堤ウォール工法（ダムウォール）が採択されました。この工法は、（一財）砂防・地すべり技術センターにて技術審査証明を取得、NETISにも登録された工法です。  
 堰堤の多くは、上下流の勾配が違い、定型のパネルでは、高さが揃いませんが、ダムウォールは勾配に合わせた法長を有するブロックで、直高1.5m×幅2mの大型ブロックで、しかも自立します。  
 勾配変化・水通し・袖勾配にも対応し、工場製作して現地での製品カットなどがでない（残材がでない）工法になっていますので、確実に工期短縮が図れます。この堰堤工事も当初計画では、3ヵ月以上掛かる予定が2ヵ月程で完成と大幅な工期短縮となりました。コンクリートでつくる堰堤、擁壁などの型枠等、様々な場所で提案していきたいと思えます。

呼び・規格	自立式砂防堰堤型枠ブロックダムウォール
施工場所	岡山県久米郡久米南町
工事名	竹常川砂防工事
工事年度／期間	平成25年度
施主／発注者	岡山県
施工者	
規模（面積、延長）	堰堤規模 L=48.39m、H=7.0m（壁体勾配：前面2分、背面3.5分）

■ 整備後



砂防堰堤完成

■ 整備前



掘削作業

■ 施工記録



基準高のチェック



ブロック据付



グリーンカット



金具の組み立て



コンクリート打設



所定の高さまでコンクリート打ち